

平成 27 年 6 月吉日

お客様へ



安川情報システム株式会社

NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0 のご利用にあたって

この度は NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0 をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0 をご利用するにあたっての動作条件やパッチなどに関しましては、
NetSHAKER サポートサイト <http://support.netshaker.com/>
をご参照ください。

■ システムアップデートに関するご注意

システムアップデートにて常に最新の状態でご利用いただきますようお願いいたします。

■ 動作検証済みメールソフトについて

動作検証済みメールソフトにつきましては、NetSHAKER サポートサイトをご参照ください。
下記に動作検証済みの主なメールソフトをご紹介します。

- 記 -

<動作検証済みの主なメールソフト>

動作検証済みメールソフト		メーカー名
メールソフト	Outlook Express 6	Microsoft
	Outlook 2003	Microsoft
	Winbiff 2.50 pl2	オレンジソフト
	Becky! V2.25.02	rimarts

※ 「Submission ポート」、「SMTP AUTH 認証」、「SMTP over SSL」、「STARTTLS」のご利用には、各機能に対応したメールソフトが必要です。運用にあたりましては事前にご確認の上、ご使用いただきますようお願いいたします。
対応しているかがご不明な場合は、各メールソフトのメーカー様にお問い合わせ下さい。

※ 本書は上記メールソフトの動作を保証するものではありません。

NetSHAKER Red-Mail で冗長化構成を行なう上でのご注意

NetSHAKER Red-Mail をご利用いただいているユーザー様に “特にご注意いただきたい事項” につきまして以下にご案内いたします。

【機器構成上の注意事項】

■ インターコネクト LAN 接続

インターコネクト LAN は、1Gbps 対応のクロスケーブルで NetSHAKER Red-Mail 同士を直接接続してください。

【設定時の注意事項】

■ ネットワーク構成の設計

設定の前に『冗長化構成設定マニュアル』をご参照の上、事前にネットワーク構成の設計を行なってください。

■ 冗長構成でのギデオン アンチウイルス・スパム利用

ギデオン アンチウイルス・スパムをご利用になる場合は、冗長化構成を構築する前にアクティブ機、セカンダリ機の両方で次の設定を行なってください。

- ・ ギデオンのライセンス登録
- ・ ギデオンの使用開始

※ ギデオンのライセンス登録を行なう際は、必ずインターネットにアクセス接続できる環境に NetSHAKER Red-Mail を接続した状態で行なってください。

■ フェールオーバー時のギデオン アンチウイルス・スパム更新

フェールオーバー後、アクティブ状態となる NetSHAKER Red-Mail の TCP/IP 設定にて DNS サーバに自分自身 “127.0.0.1” を設定している場合、アンチウイルス・スパムのデータベース(定義ファイルなど)の自動更新に少々お時間がかかります。

フェールオーバー後すぐに最新の定義ファイルにて運用したいという場合は、2台ともに、TCP/IP 設定(「サーバの管理」→「システム設定」→「TCP/IP」メニュー)にて “127.0.0.1” 以外でインターネットにアクセスするための DNS サーバを設定してください。

■ 冗長化構築時のシステムアップデート

必ず、両方の機器ともシステムアップデートを行なって、最新の状態にして使用してください。

■ メール送信時の送信元 IP アドレス

Red-Mail からのメール送信時の宛先 IP アドレスは、「サーバの管理」-「システム設定」-「TCP/IP」

で設定しているプライマリインタフェースの IP アドレスとなります。(共通 IP アドレスではありません)
FirewallなどでSMTPのフィルタリングを行なう場合は、2台のRed-MailのプライマリIPアドレスの両方からのSMTP送信を許可する必要がありますので、ご注意願います。

(SMTP受信は共通IPアドレスで可能です。)

また、相手サーバによってはIPアドレスの逆引きが出来ないサイトからのメールは、メール受信を拒否するように設定されている場合がございますので、2台のRed-MailのプライマリIPアドレスについても構成に応じてDNSサーバに逆引き設定を行なってください。

■ DNSサーバの設定

冗長化構成を構築する前に必ず、TCP/IP設定にてDNSサーバ(「サーバの管理」-「システム設定」-「TCP/IP」メニュー)に自分自身「127.0.0.1」もしくは稼働中のDNSサーバを設定してください。

設定に不備がありますと冗長化構成後の各種設定を変更時に、DNSサーバへの問合せに失敗して、フェールオーバーが発生します。

【運用中の注意】

■ メール受信時のアカウント

メール受信(POP)でのアカウントは「ユーザ名.仮想サイト名」の形式となります。

■ システムアップデート

NetSHAKER Red-Mailを冗長構成で運用している場合で、システムアップデートを実行する場合は、『NetSHAKER Red-Mail(冗長化構成)パッチ適用手順書』をご参照いただき、冗長化を無効に設定した後、「必ず2台とも」システムアップデートを実施し、同じパッチ適用状態にしてください。

パッチ適用後は再び、冗長化構成を有効にしてください。

(システムアップデート中はメールの使用ができません)

■ ウェブサーバのコンテンツアップロード

ウェブサーバへのコンテンツアップロード可能なユーザは、サイト管理者、一般ユーザとなります。サーバ管理者ではアップロードを行わないでください。

※ サーバ管理者は、冗長化構成の同期対象外のため、サーバ管理者権限でアップロードされたウェブサーバのコンテンツなどの同期対象ファイルは、フェールオーバー後、サーバ管理者ではアクセスすることができなくなります。

以上